

# 学びのR

No. 38 (令和3年3月)  
埼玉県教育局南部教育事務所  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform(改革)」の頭文字です

## \*\*\* 「指導と評価の一体化」で授業改善⑪ \*\*\* ～ 「小・中学校 道徳科」編 「問題解決的な学習」～



埼玉県マスコット「コバトン」

\* 今回は、「指導と評価の一体化」の視点から、「問題解決的な学習」について紹介します。



道徳科における「問題解決的な学習」とは、どんな学習ですか？



道徳的な課題について、その解決方法について、話し合い等を通して解決していく学習です。

学習指導要領解説（特別の教科 道徳編）では、「ねらいとする道徳的諸価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりと物事を多面的・多角的に考えながら課題解決に向けて話し合うこと」とあります。課題解決に向けて、主体的に納得解を追究していくような学習の工夫が必要です。



「問題解決的な学習」を充実させるためのポイントがありますか？



ポイントは次の2点です。

- ① 道徳的価値に関する問題場面や明確な課題のある教材を使用し、問題解決を促す発問をする。
- ② 問題解決に向けて、他者との対話や協働する活動、自分とは異なる意見と向かい合う学習活動を取り入れる。

### PICK UP! 「問題解決を促す発問」とは？

埼玉県マスコット「さいたまっちゃん」



問題解決的な学習を行う際、児童生徒に「問題解決を促す発問」をすることが大切です。

例えば、次のような発問です。

- ① 問題場面についての児童生徒の考え、その根拠を問う発問。「なぜ～でしょう？」
- ② 問題解決場面を自分に当てはめて考えてみることを促す発問。「自分だったらどうしますか？」
- ③ 問題解決場面における道徳的価値の意味を考えさせる発問。「なぜ〇〇は大切なのでしょう？」

※では、実際に、授業はどのようにすればよいのでしょうか。裏面を御覧ください。



内容項目 [A 善悪の判断、自律、自由と責任]

教材名 「うばわれた自由」(「私たちの道徳 小学校5・6年」 文部科学省) の例

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 「自由について」の事前アンケートの結果を知る。	アンケートから児童生徒の問題意識を喚起します。	1時間を貫く学習問題を設定することで、主体的に学習できるようにします。 【評価①】
展	2 教材「うばわれた自由」を読み、考える。	道徳的価値の意味を問うことを中心にする。	・本時の問題解決的な学習は、 <u>自由の本当の意味を考えさせる</u> 方向で進めることを明確にする。
	3 道徳的価値の本当の意味について話し合う。 ・ガリユーのいう「自由」とジェラルール王子のいう自由とはどのように違うのだろうか。 <u>児童生徒の考えを問う</u> ことで、自分事として考えることができます。【評価②】	<p>〈ジェラルール王子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分勝手な自由。</li> <li>・自由だが無責任。</li> </ul> <p>〈ガリユー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守った上での自由。</li> <li>・人のことを考えている自由。</li> </ul>	二人の考え方の違いを明確にすることで、自由と責任を多面的・多角的にとらえるようになります。【評価①】
開	・ガリユーとジェラルールの自由についての考え方に対して、 <u>みなさんはどのような考えをもちましたか。</u>	・ジェラルール王子は、みんなに迷惑をかける自由だと思う。 ・ガリユーの自由は、自由らしくない。	☆ジェラルール王子とガリユーの考えの違いから多面的・多角的に考えているか
	・「 <u>本当の自由</u> とは、 <u>どのようなことなのでしょう</u> か。	・自由を大切にし、きまりを守りながら責任ある行動をしていくことだと思う。	☆自分事として自由と責任について考えを深めているか。
終末	4 自己を見つめ、自己の課題を発見する。	児童生徒の普段の生活と重ね合わせることで、 <u>生活に生かせるように</u> します。	学習課題の答えは、 <u>児童生徒それぞれの納得解</u> とします。
	5 学習を振り返る。		・書く活動を取り入れ、自分自身をじっくりと見つめさせることによって、ねらいとする道徳的価値について自覚を深めさせる。

・評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】【評価①】

- ・主人公に自分を投影しながら考え、話し合っている

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】【評価②】

- ・謙虚な心を持ち相手の立場や考えを受け止める意義について自分との関わりで考えている。

※下記の参考資料を参照してください。

引用 埼玉県小学校教育課程指導・評価資料（R1. 3）から引用して作成  
※引用した部分は、ページ数を示してあります。(例 p.〇〇)

参考 小学校学習指導要領解説（特別の教科 道徳編）(H30. 2)



「学びのR」  
はこちらからも御覧いただけます！



道徳科の評価はこの2つの視点で評価します。この評価を行うためには、2つの視点で指導を行っていることが必要です。指導と評価が一体となっている必要があります。